

# 強者の戦略

続・京都大学といふところ 第1回 遅咲きの京大生デビュー

皆様こんにちは。研伸館化学科の古谷勇馬です。大学を離れて幾星霜、今となつては見た目も中身もその面影は全くありませんが、こんな私でも大学生だったときがあります。そのときを振り返り、人生初の「自伝」を書いてみようとしてキーボードを叩き始めました。できるだけ南先生とは違う切り口で話をしていこうと思っています。どういう展開になるかは全く予想が付きませんが・・・お付き合いよろしくお祈りします。

まずは強者の戦略らしく、合格体験記を書いたら良いですかね・・・と言いたいところですが、私は浪人していますし、お世辞にも「強者」とは言えないので、手短かにいきたいと思います。高校時代は、学業も遊びもどちらも中途半端にやっていたからね・・・二兎を追う者は一兎も得ず、は真実であると思います。

私はもともと京都大学の理学部を志望していました。なぜ京大かって？何となく憧れたからです(苦笑)。本当はこういう目的はあまり良くありません。目的意識が明確でないまま大学に入ると、大抵の場合「燃え尽き症候群」になってしまいます。後々明らかになると思いますが、私は中途半端に燃え尽きたらしく、燃え尽きているという自覚がなくズルズルと大学生活を長く送ってしまうこととなります・・・。そういう自分の失敗談から、自分のやりたいことを明確にすることは生徒から相談を受けたときでも強調するわけです。

理学部である理由。これは明確でした。当時の私は数学が好きだったからです。ところが、そんな私に転機が訪れます。高2の修学旅行で北海道に行き、大自然の雄大さに衝撃を受けました。また、高3のときに京都大学のパンフレットを見て、農学部のページに強く惹きつけられたこともあり、農学部に志望を変えました。幼少の私は動植物に興味を示さず、農学部に志望することには親も驚いたそうです。ただ、昔から「今の自分がないものを獲得していく」という気持ちは強くありましたから、それが影響したのかもしれませんが。

しかし、そこで大きな壁が立ちました。京大

農学部のセンター配点は当時は 300 点だったのですが、うち 100 点が地歴公民なのです(これは今もそうですね)。社会が苦手な私にとってこれは辛い・・・結局、しっかり勉強した(つもりである)地理と、付け焼刃で勉強した現代社会が 4 点ぐらいしか変わらず、二次試験も撃沈して浪人が決まりました。

浪人してからはさすがに勉強しましたね。人生で一番勉強したかもしれません。その結果、センターでは現役で 70 点だった地理が 92 点と躍進し、二次試験では、作戦通り、英語・数学・国語を何とか 5 割強で踏ん張り、そして理科で点数を稼いで(おそらく物理は 8 割いけたと思っています)、無事リベンジを果たし、京都大学農学部資源生物科学科に入学しました。今、講師をしていることから分かるように、今の私を作っている「核」のようなものは当時形成されたと言えます。

今でこそ人前で話をする仕事をしてしていますが、当時は本当に内気な少年だったので、友人関係を作るのに苦労しました。南先生のコラムにもあった茶話会にも行かず。高校の友人は結構京大内にはいたのですが、学部が違ったりして、結局同じ学科にいるのは 1 人だけ。しかしその友人は圧倒的なコミュニケーション能力を持っていて、瞬く間に学科を代表する人間になっていきました。

そこで、私のような人間がとるべき人付き合いの鉄則は、出席番号が前後にいる人間と徐々に仲良くなることです。入学式とかで必ず隣にいますから話しかけやすい(笑)。また、語学の授業も学科だと 100 人近くいて人数的に無理があるので、出席番号で 4 つくらいに分けるのですが、そこでも必ず一緒だから関係も深めやすい。だから、サークルだと違うけれど、クラスだと名字がハ行とかマ行の友人が多いのです(笑)。

とはいえ、やはり内気であるという本来の姿をひっくり返すことはそう簡単にいきません。サークル見学も行ったのですが、見えない力(←何を言っているんだ)がはたらいて 1 回生のうちは何にも入りませんでしたし、

# 強者の戦略

アルバイトも1回生のうちは何にもしませんでした。

こう書くと本当に陰気な大学生ですが(笑)、そういうことばかりではなく、NF(11月祭。京大の学園祭です)で、学科で模擬店を出すことになったのですが、その実行委員メンバーの一人になって、そこから徐々に友好関係は広がりました。名字がタ行の友人もできた(笑)。それでちょっと自信がついたのか、「2回生からサークルとかバイトとかやってみよっかな」と思えるようになって、実際に家庭教師のアルバイトを始め、高校でフォークソング同好会(という名の軽音部)をやっていたこともあり、軽音楽部に入りました。

履修した講座についてですが、私は楽勝科目には全く関心がなく、「単位取りやすくて面白くなかったら嫌になって単位が取れないかも」と思っていたので、単純に「聴きたい講座」を履修していきました。ですから、第二外国語も何だか面白そうだなと思ったイタリア語(笑)。履修者も少ない。もちろん同じ学科の人間などいない。かといって履修者同士で会話が弾むわけでもない。でも、面白かったですよ。後期は物語を読んでいくのですが、文法事項を半期で詰め込んで、しかもしっかり定着していなかったため、読むのがめちゃくちゃ難しい。でも、辞書や教科書を片手に、意味を少しずつ理解していくのが何だか暗号を読んでいるみたいで面白かったです。

その他には、ご存じのとおり京都大学は霊長類に関する研究はトップクラスであり、その概論的な講座を受講しました。さすがに京都大学ともなると、高確率で著名な先生方のお話を聴く機会に巡り会えます。先ほどの霊長類の講座であれば、「チンパンジーのアイちゃん」でおなじみの松沢哲郎教授、心理学関係で言えば山中康裕教授とか。もっと色んな授業を履修しておけば良かったなあと思います。こんな有名人の話を半年近くも聴ける機会ってなかなかありませんからね。

1回生のうちは先ほども書いたように、時間的余裕はかなりあったので、授業のないときは何をしていたの

かというところ…サイクリングをしていました(笑)。京都大学はキャンパスが非常に広く、自転車が必需品となります。休み時間は「ここは中国か」と思えるほどに自転車の群れが大移動します。私もそれに倣って自転車を購入していたのですが、白川通に入って修学院や宝ヶ池あたりまで北上していました。なぜか南下はしなかったのですが…平安神宮とか疎水があるのに!!こういうところも中途半端(笑)。当時の京都駅前の駐輪場は無料だったので、そこに泊めて大学までこいでいくということもやりました。片道30分くらいで、鴨川沿いの遊歩道を通るのはなかなか爽快です。春であれば、桜が満開なのですごく綺麗です。

ただ、冬場は注意してください。寒いのもありますが、雪解け水などで増水すると疎水から水が鴨川に流れてくるんですね。その流水口が二条あたりにあって、遠目で見たらスプラッシュマウ○テンの如く水を切って心地よく走れるのでは?と思ったのですが、いざこいで進んでいくと、想像していた以上に水位が上がって、3分の2進んだあたりでタイヤの半分が水に埋まってしまって動けなくなって(笑)どうしようもないのでそこから降りて歩いて抜けました。もちろんびしょぬれで、大学についてからストーブで乾かしました…。本当に気をつけてくださいね。

2回生では教職科目を受講しようと思ったのですが、結局挫折。これは大学で後悔したことの中でもトップに入るくらいのことです。当時はまさか教育に携わる仕事をするとは思っていませんでしたからね…。あとは、友人ととある資格をとろう!ということになって、他学科の専門科目を受講しました。結構難しいものもありましたが刺激的でしたね。

先にも書いたように、2回生になって軽音楽部に入部して、ギターかベースをしようかなと思っていたのですが、一緒にやろうと思っていた人がベースを志望したので、ギターになりました。で、なぜかB'zのコピーをやることになって大変だった(笑)。このときにギターの

# 強者の戦略

腕は急激に上達しました。でも、やっぱりベースやりたいなという気持ちはあって、3 回生にはベースも買ってしまいました。後々書くことになると思いますが、このときにベースを始めると思い立って本当に良かったと思います。



2 回生の私。帽子がダサイ・・・

家庭教師のアルバイトもやったのですが、初めていきなり衝撃だったのは私立中学の子の算数の力。私はずっと公立の学校に通っていたので、私立受験をした子はこういう思考回路を持っているのか!と逆に学ばされることが多くありました。結局いろんな教え子をもって、大学を出るまでずっと続けていました。小学校の教え子は大変だったなあ・・・まず勉強をする気にさせるのが大変(笑)あの手この手を使ったのですが、焼け石に水で・・・今ならもっとちゃんと教えてあげられたのになあとと思うのが残念です。あと保護者からバレンタインのチョコレートをいただくこともあります。もちろんお返しはしましたよ!

とまあ、駆け足気味ですが、2 回生まではこういう生活をしていました。たぶん、私が2 回生でやってきたことは皆さんは 1 回生でやるんだろうなと思います。大学以降では、自分から求めなければ何も得られません。これは断言できます。もちろん、ペースは人それぞれですが、最終的にアクティブにならないと、充実した大学生活を過ごすことはできないでしょう。これから話し

ていくように、私は反面教師としてしか大学での経験を伝えることはできませんが、皆さんの大学生活が充実したものになることを願ってやみません。

今回は 3 回生から。ここから履修科目に対する専門科目の割合が一気に高まっていきます。また、研究室選びも後半であります。そこでどういう点に注意すればいいか。今回とは違ってかなり濃い内容ですね(笑)。乞うご期待!